

和ん話んタイムズ

No. 3 (会員向け)

2008.4.28

NPO 法人
ここ掘れ和ん話ん探検隊

第一回総会が開かれました

特定非営利活動法人ここ掘れ和ん話ん探検隊の第1回総会が去る4月19日(土)大滝温泉「滝の湯」において開催されました。会員42名中31名の出席(他に委任6)でした。

すでに設立総会の際に『設立から平成21年3月まで』の事業計画は決定されていますが、その後の新たな取り組みや会員の交流も必要ということから、総会と合わせて交流会を開くことになったものです。

総会は、齋藤弥輔理事長の挨拶につづき、小林嘉さんを議長に選出して進められ、平成20年度の事業計画・予算案が原案どおり満場一致で可決されました。

総会のあと、交流会が盛大に行われ、活発な意見の交流がありました。会員同士のはじめての交流の場でもありましたので、これからのこの法人の前途を期待する貴重な意見をたくさん頂戴いたしました。

平成20年度事業の概要

昨秋の設立総会での計画は ①山菜の学校 ②十三峠交流会 ③大宮塾 が大きな柱でした。これらについては計画どおり進めることとなります。

なお、「十三峠交流会」に関しては、事務局をここ掘れ和ん話ん探検隊の中におくこととなり、事務局機能を担うこととなりました。

こちら去る4月23日アスモで総会を開きましたので、裏面に詳しく記載しました。

みどり環境税 公募事業

やまがた緑環境税を活用した「森づくり活動」に応募していましたが、補助対象に決まった、との通知がありました。

私たちが目指したものは、「県境を越え、荒川流域全体で森林を守る」ために「流域ネットワーク」をつくり「シンポジウムの開催」

や「自然とのふれあい体験」などでしたが、今回認められたものは「ブナの森体験イベント」の部分で、【座学】については認められませんでした。

178,000 円の補助がでますので、今後、具体的な企画・立案の活動が出てきます。

「連合・愛のカンパ」助成

会員からの情報提供によって、「地域NPOを応援する愛のカンパ」に助成の申請をしておりますが、先日、山形の連合から「山形ではOKとなり、中央に送付した」との通知がありました。決定まではしばらくかかりますが、朗報を待ちたいものです。

その他

非公式ですが、観光協会・国土交通省ほかから、業務を委託したいとの話も伝わってきております。(正式な連絡があった時点で検討・判断をすることになります)

越後米沢街道・十三峠交流会の総会終了

4月1日からここ掘れ和ん話ん探検隊の中で事務局を担うことになりましたが、そのはじめての総会が4月23日、アスモで開かれました。川西・飯豊・小国・関川の各町村からの街道関係者と置賜総合支庁・国土交通省などから20名が出席し、今年の事業計画・予算案について話し合いが行われました。

当面の活動として、「交流会」の発足を記念して「ツーデーウォーキング」イベントを開催します。

6月7日(土)大里峠・萱野峠・朴の木峠を歩いて、健康の森「横根」に宿泊、夜は「篠笛コンサート」も企画しています。

翌日8日(日)はバスで移動、黒沢峠を歩きバスで移動、宇津峠を歩き、手ノ子で閉会。

近日中にくわしいチラシを作ることでありますのでお待ちください。

準備やスタッフなども必要になってきますので、会員の皆さんのスタッフ参加をお願いします。日程確保をよろしくお願いします。

昨年、2回実施をしました「萱里予峠敷石惚れ掘れ探検隊」は、今年①7月5～6日と②10月4～5日に予定されています。詳しくは後日。



●スタッフ用のジャンパーも作りました

その他の活動計画では、①9月に「設立記念シンポジウム」 ②グッズの開発 ③視察・研修 ④パンフレット・カレンダー制作 ⑤峠のガイド養成講座 ⑥各峠のイベントへの支援 など多彩なメニューとなっています。

未開発峠の調査

十三峠のうち、ルートがはっきりしていない箇所がいくつかあります。宇津峠の小国側、大久保峠、才の神峠、貝の淵峠、高鼻峠の旧道、朴の木峠の足野水側などです。

これらについて、関係者と連携しながら、交流会が先頭になって確定の作業を進めたいと思っています。大久保・貝の淵は近日中に調査が行われます。

各地の峠や街道からの誘い

各地域の峠では、いろいろな組織を作ってイベントを行っている所があります。とうほく街道会議・六十里街道・二井宿・七ヶ宿・羽州街道……

これらのイベントの案内が来ています。すべてお知らせできませんが、興味のある方、ぜひ、事務所へお越しください。



●活動している各峠の「のぼり」を作りました